

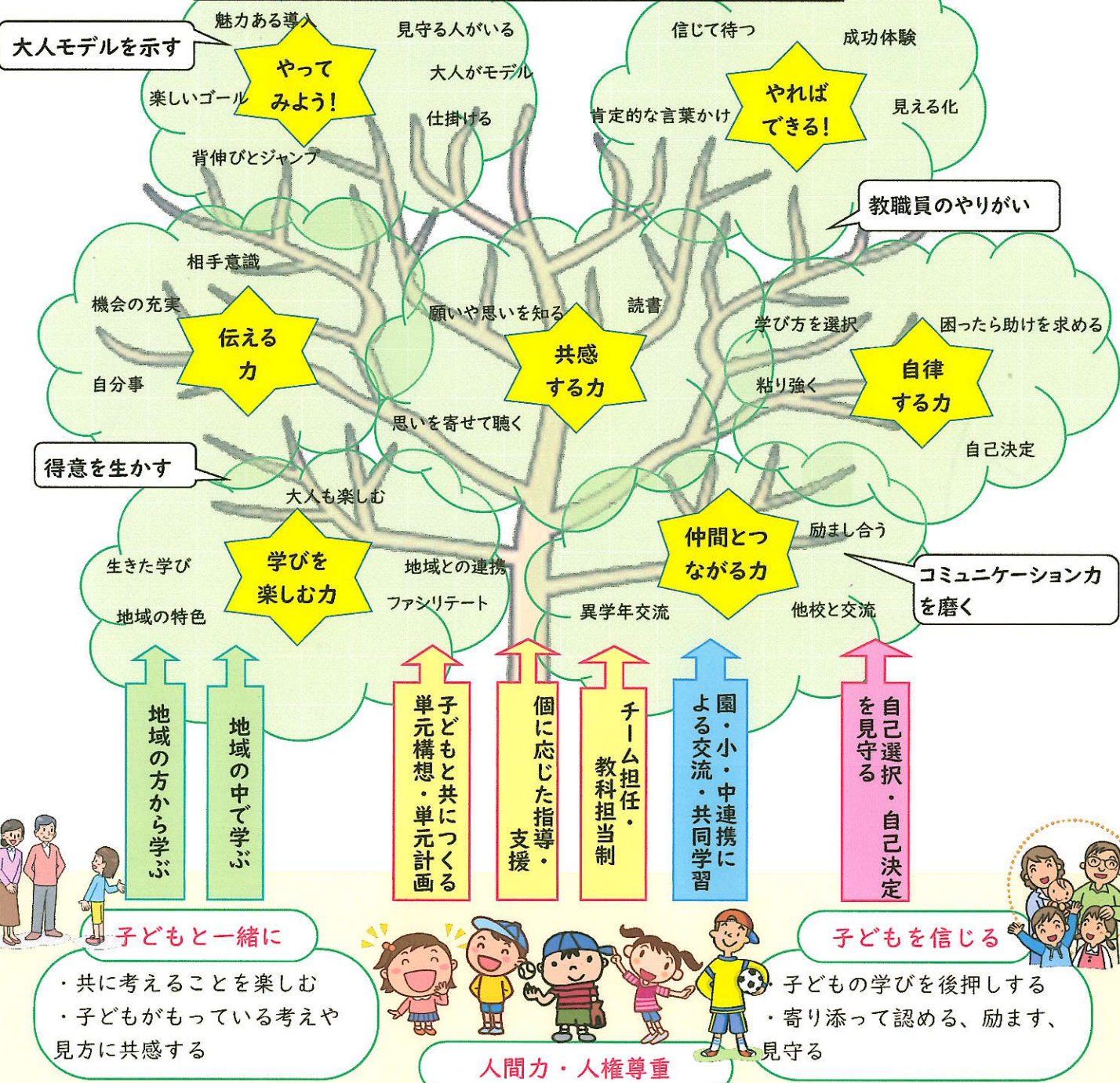
大人も子どももたのしく・げ(け)んきに・のびのびと！

竹野地域の竹野小学校

夢と希望をもち、たくましく生きる若竹っ子の育成
～サステナブルな社会の創り手になる～

自己肯定感を高める(自己受容する力・考える力・自己決定する力)

自分を知り、自分を認める(自己理解)



大人も子どもも一人の人として尊重し合う・自分も相手も大切に
ウェルビーイング(自分にとっての幸せ)・学び続ける姿勢

地域

学校

保護者

めざす児童の姿 「自分で考え、選択・判断し、決定する。困ったときには助けを求める。」

たのしく学ぶ> 「なんでだろう」「もっと知りたい」問いを大事に自ら学ぶことを楽しむ児童

げ(け)んきに活動する> 「やりたい」「やってみたい」挑戦を大事に粘り強く活動する児童

のびのびと表現する> 「伝えたい」「聞きたい」人とのつながりを大事にする児童

教職員の姿 『学ぶは楽しい』自ら学び続ける、ウェルビーイングを体現する。』

○京丹波町メソッドを基盤に、児童とともに単元計画を作成し、学びのゴールを共有する授業づくりを行う

○児童とともに竹野のことを知り、自分にできることは何かを考え、活動につなぐ生きた学びを展開する

○自分も相手も大事にできる児童の心の育ちと児童自身が自分を認め、自分を信じる心をもつことを信じて徹底的に向き合う

重点目標

1. 自分を認める、自分を信じる心と自分も相手も大事にできる、しなやかな心を育む。
2. 「問い」を大事にした主体的な学び、ゴールを明確にした学びを児童と共有し、確かな学力につながる「学び方を学ぶ」授業の充実を図る。
3. 地域全体を学びのフィールドとして、地域の今を知り、未来を考える中で、児童も地域の一員として参画できる探究的な学びを学校・家庭・地域の連携のもと充実させる。
4. 竹野の伝統 ～歌声響き笑顔輝く若竹っ子～を継承し、保護者や地域に笑顔と元気を届ける全校合唱に取り組む。

～人づくりは地域づくり～

学校と家庭、地域に包み込まれて育つ若竹っ子～地域に元気を届けよう～

<学校運営協議会>

学校・保護者・地域が一体となって語り合う

- 学校経営方針の承認
- 学校経営の評価

<竹野小学校PTA>

子どもたちの健全な成長のために教育環境の整備
学校・家庭・地域社会の連携推進

- 登下校の安全見守り
- あいさつ運動の推進
- 自分も人も大切に育てる家庭教育
- 親子読書の奨励
- 地域と連携した豊かな体験活動

<竹野ならではの>

- ☆竹野サロン出前発表(地域の方との交流)
- ☆竹野大運動会(地域の方とともに楽しむ)
- ☆若竹っ子学習発表会(敬老会参加者の参観)
- ☆夏季学校美化作業(PTA・地域の方の協力)

<地域学校協働本部>

【サタデープラン実行委員会】

- しめ縄づくり教室
- 天文観測
- とんがり山登山

【栽培・収穫 活動】

(竹野活性化委員会産業部会・須知高校
株式会社京都ものがたり など)

- 黒豆づくり
- 田植え・稲刈り
- 野菜づくり
- 6次産業(バジル栽培・収穫・おいる販売 等)
- 山の仕事体験活動(林業大学校との連携)

【読み聞かせサポーター】

- 本の読み聞かせ(月2回)

【学習サポーター】

- 生活科むかしあそび
- ものづくり体験 など